

防災マニュアル

阿智村公立保育園

版数	年月	内容
第 1 版	2018 年(平成 30 年)	初版作成
第 2 版	2026 年(令和 8 年)	再編成
第 3 版	2029 年(令和 11 年)	次回見直し予定
第 4 版		

※3 年毎見直しを行う

「防災マニュアル」策定にあたって

このマニュアルは、自然災害発生時における園児と職員の安全を守ることを目的とする。
日頃から災害に備え、災害発生時には職員全員が共通認識のもと、迅速かつ的確に対応できるようにしておくための基本的事項を定める。

目次

- I. 災害発生時の保育園の役割(P1)
- II. 災害発生時の緊急対応フロー(P1)
- III. 災害時の組織と任務分担(P2)
- IV. 災害別の対応と予防緊急(P2)
 - 1. 火災
 - 2. 地震
 - 3. 自然災害(風水害・台風・落雷・土砂災害)
- VI. 備蓄・緊急持ち出し品の準備(P4)
- VII. 連絡体制と緊急連絡先(P5)
- VIII. 避難場所・避難経路(P6)

こんな時どうする① 火災が発生したとき(P7)

こんな時どうする② 地震が発生したとき(P8)

こんな時どうする③ 自然災害が発生したとき(P9)

附属資料 1 防災年間計画(P10)

I. 災害発生時の保育園の役割

災害発生時、保育園は以下の役割を担う。

- 園児、保護者、およびその他保育園に関わるすべての人の安全を確保する。
- 保育サービスを継続する。
- 保育園の物品等を保全・復旧を行う。

II. 災害発生時の緊急対応フロー

園長は、災害の状況を把握し、避難の判断や必要な指示を出す。

1. **安全確保**: まず、自分と園児の安全を最優先に確保する。
2. **状況把握**: 何が起きているかを迅速に把握する。
3. **情報伝達・通報**: 園内や関係機関(119番、教育委員会など)に連絡する。
4. **避難誘導**: 安全な場所へ避難を始める。
5. **安否確認・報告**: 避難場所で園児と職員の安否を確認し、教育委員会に報告する。
6. **保護者への連絡・引き渡し**: 保護者へ連絡し、園児の引き渡しを行う。

III. 災害時の組織と任務分担

災害応急対策を実施するため、以下の組織と任務分担を定める。

係	任務分担
総括(園長・主任)	園児等の避難の判断と、全員避難の確認を行う。災害状況を把握し、必要な指示を出す。
情報収集係(主任)	園長を補佐し、園長不在時は任務を代行する。災害情報の収集、被害状況の確認、報告を行う。緊急災害時引き渡しカードや避難袋、救急バッグを携帯する。
通報連絡係	消防(119番)や救急(119番)、教育委員会に連絡する。消防隊が到着したら、現場へ誘導し情報を提供する。 ※園の状況に合わせて近隣の住民や小学校・支所等に連絡し協力をお願いする。
避難誘導係	避難経路や周辺の安全を確認し、園児を誘導する。残留児や怪我人の有無を確認する。
救護係	応急手当を実施する。
消火係(主に調理員)	火災発生の確認と初期消火を行う。
非常持出係	非常用持ち出し品や物資の配分を行う。

※役割分担は、園の規模や特色に応じて検討する。

IV. 災害別の対応と予防

1. 火災

(1) 事前の備え(予防)

- **訓練の実施:** 防災年間計画に沿って以下の訓練を実施する。

避難訓練: 毎月 1 回

消火訓練: 年 1 回

通報訓練: 年 2 回

附属資料 1 防災年間計画(P10)

- **火元責任者の業務:** 園長・主任は建築物の整理整頓、主に調理員は調理室の火気設備等の点検、防災係は電気設備や消防用設備を定期的に点検する。
- **施設・設備の点検:** 安全点検表に基づき、安全係が中心となり、月に 3 回点検を行う。室内点検は月に 1 回行う。また、出火元になりやすい電化製品や配線などを確認し、消火器の場所と使い方を把握しておく。
- **環境整備:** 避難経路や防火扉付近には物を置かず、日頃から子どもたちの行動特性を把握しておく。

(2) 発生時の対応手順

1. **初期対応:** 火災を発見した職員は、落ち着いて周囲の職員と子どもに火災発生場所を知らせる。

2. **避難誘導:** 職員は連携して、園児を安全な場所に避難させ、人数を確認する。出火元、火の周り、煙、風向きを考慮し、より安全な方向へ避難する。
3. **通報・連絡:** 消防(119番)に連絡し、必要に応じて救急も要請する。園長・主任、教育委員会に状況を報告する。
※手順 2, 3 は同時進行にて行う。
4. **初期消火:** 職員は可能な限り初期消火に努める。
5. **情報共有:** 園長は被災状況を教育委員会に報告し、今後の避難行動を検討する。園舎が危険な場合は、速やかに第 2 避難所へ避難する。
6. **保護者への連絡:** 教育委員会は「マメール」や村内無線を併用し、保護者へ迎えを要請する。
7. **園児の引き渡し:** 「緊急災害時引き渡しカード」と照合して保護者へ引き渡す。カードに記載のない人が迎えに来た場合は、保護者に確認が取れるまで引き渡さない。

2. 地震

(1) 事前の備え(予防)

- **訓練の実施:** 防災年間計画に沿って以下の訓練を実施する。
 避難訓練: 毎月 1 回
 消火訓練: 年 1 回
 通報訓練: 年 2 回
 保護者への通知訓練: 年 2 回
 園児引き渡し訓練: 年 2 回
- **環境整備:** 転倒しやすい家具や備品の転倒防止対策を行う。避難経路に障害物がないか確認する。
- **情報共有:** 職員は日頃から子どもたちの行動特性を把握しておく。

(2) 発生時の対応手順

【地震発生中】:

- ・ **園舎内:** 揺れを感じたら、姿勢を低くし、机の下やカーペットなどを使って身を守るよう園児に指示する。窓ガラスや倒れやすいものから園児を遠ざけ、速やかにドアやサッシを開け、避難路を確保する。
- ・ **園庭・プール:** 園児を塀や建造物から離れた安全な場所に集め、揺れが収まるのを待つ。プールではプールの縁に捕まり体を支えたり、素早く水から上げ、タオルなどで体を包む。

【揺れが収まったら】:

- ・ **火の元確認:** 速やかに火の元を閉め、安全を確認する。
- ・ **一次避難:** 全園児の人数と安全を確認し、園庭に一次避難する。
- ・ **園外(散歩中):** 塀や建造物から離れ、安全な場所で揺れが収まるのを待つ。その後、保育園や教育委員会に連絡し、近隣の安全な場所で待機する。
- ・ **第 2 避難場所への移動:** 火災の発生や園舎の危険が判断された場合、第 2 避難場所へ避難する。保育園を離れる際は、行き先を分かりやすい場所に掲示する。
- ・ **保護者への連絡:** 教育委員会は「マメール」や村内無線を使い、保護者に迎えを要請する。

(3) 休園・お迎えの判断基準

以下のいずれかに該当する場合は、休園または園児の引き渡しを行う。

- ・ 保育園の所在地に気象に関する避難情報が発令されたとき。
- ・ 地震警戒宣言または震度 5 以上の地震が発生したとき。
- ・ 園舎や周辺の被害状況を確認し、安全が確保できないとき。

3. 自然災害(風水害・台風・落雷・土砂災害)

(1) 事前の備え(予防)

- ・ **訓練の実施:** 土砂災害防止法改正により、防災年間計画に基づいた避難訓練を年に 1 回行う。
- ・ **環境整備:** 風で飛ばされやすい物を事前に撤去し、避難経路の安全を確認する。
- ・ **情報収集:** ラジオやテレビなどで気象情報を把握する。

(2) 発生時の対応手順

【登園前】:

- ・ **警戒レベル 5(緊急安全確保):** 全園休園とする。
- ・ **警戒レベル 4(避難指示):** 休園とする。土砂災害警戒情報発出地区の保育園は休園し、「あふち保育園」にて緊急時特別保育を行う。
- ・ **警戒レベル 3(高齢者等避難):** 教育委員会が状況を判断し、指示する。
- ・ 職員は早めの出勤を心がけ、道路が不通の場合は教育委員会に連絡して待機する。

【保育中】:

- ・ **警戒レベル 5(緊急安全確保):** 全園で園児の引き渡しを行う。
- ・ **警戒レベル 4(避難指示):** 土砂災害警戒情報発出地区の保育園は園児の引き渡しを行う。
- ・ **警戒レベル 3(高齢者等避難):** 教育委員会が判断し、指示する。
- ・ 風水害や台風発生時は、保護者に危険のない時間帯に迎えを要請する。
- ・ 落雷時は、園庭など屋外にいる場合、速やかに屋内に避難する。
- ・ 土砂災害警戒情報が発令されたら、園児の引き渡しを開始する。

VI. 備蓄品・非常持ち出し品の準備

支援物資が届くまでの少なくとも 3 日間は自園で対応できるよう、園児と職員分の食料や飲料水を備蓄する。備蓄品リストを作成し、年に 1 回は在庫を確認する。

備蓄品・非常持ち出し品リスト(参考)

備蓄については、購入している物資の賞味(消費)期限を迎える前に計画的に使用し、新たに買い足す。

区分	品名
食料品	<input type="checkbox"/> ミネラルウォーター <input type="checkbox"/> 粉ミルク <input type="checkbox"/> スポーツ飲料 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> アルファー米 <input type="checkbox"/> 非常用ビスケット(アレルギー対応)
生活用品	<input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 哺乳瓶 <input type="checkbox"/> おまる <input type="checkbox"/> スプーン <input type="checkbox"/> フォーク <input type="checkbox"/> ラップ <input type="checkbox"/> ナイフ(カッター) <input type="checkbox"/> バケツ <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> トイレットペーパー <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 筆記用具(マジック) <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ウェットシート <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> マッチ <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 非常用保温アルミシート <input type="checkbox"/> 現金(小銭) <input type="checkbox"/> バスタオル <input type="checkbox"/> 紙コップ
避難用品	<input type="checkbox"/> 関係機関連絡リスト(引き渡しカード) <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> おんぶ紐 <input type="checkbox"/> 拡声器 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 乾電池
救急医療品	<input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> ガーゼ <input type="checkbox"/> 止血帯 <input type="checkbox"/> 絆創膏 <input type="checkbox"/> 三角巾 <input type="checkbox"/> 湿布 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> カット綿 <input type="checkbox"/> ビニール手袋 <input type="checkbox"/> 冷感シート <input type="checkbox"/> 嘔吐処理セット

非常持ち出し品リスト

下記リストを参考に、各園必要な物を備蓄する。

緊急災害時引き渡しカード 懐中電灯 布・さらし 救急用品(嘔吐処理セット)
ろうそく 着替え マッチ・ライター 紙オムツ ラジオ 飲料水 針・糸・はさみ
ロープ 筆記用具 軍手 体温計 脱脂綿 メモ帳 タオル 消毒薬
ビニール袋 ビニールシート 模造紙(カレンダー等)

VII.連絡体制と緊急連絡先

1. 職員への連絡体制

- 全職員の連絡先は「緊急時の連絡の届」に記入し、年度初めに教育委員会に提出する。
- 緊急時は、教育委員会(総園長)から「阿智村保育園のライン」を通して園長に連絡を伝え、各園長が職員に周知する。

2. 保護者への連絡方法

- 村防災行政無線「こうほうあち」、保育園連絡メール(マメール)、施設玄関での掲示を主な連絡手段とする。
- 電話が繋がりにくい場合は、NTT 災害用伝言ダイヤル「177」や携帯電話各社の災害用伝言板サービスを活用する。

緊急連絡先一覧

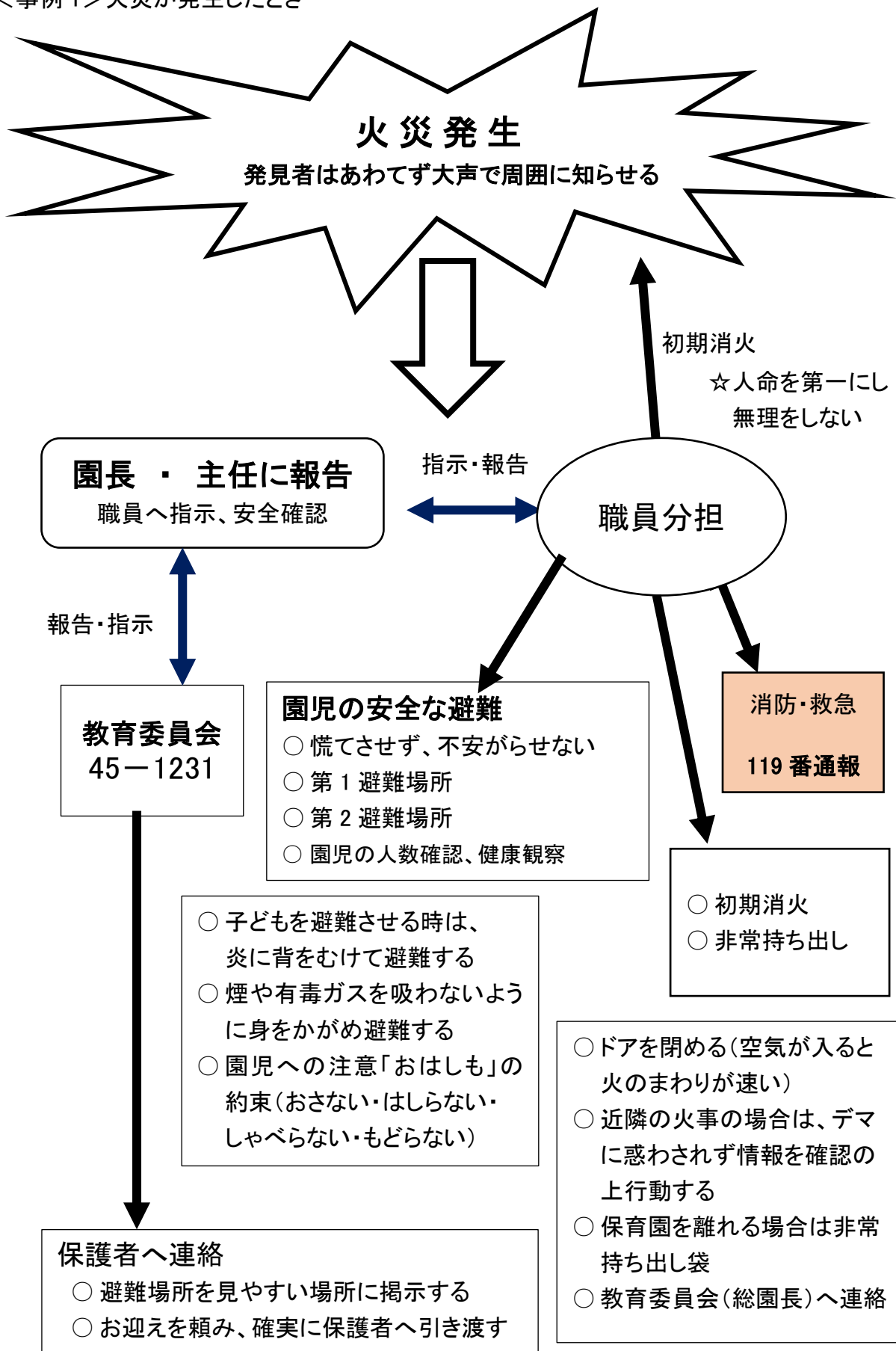
分類	連絡先名称	電話番号	備考
消防・警察	警察	110	
	阿智交番	0265-43-2052	
	飯田警察署	0265-22-0110	
	救急・火災	119	
	飯田消防署(山本分署)	0265-25-1195	
医療機関	羽生循環器科内科医院	0265-24-1250	智里東、浪合、清内路
	矢澤内科循環器科	0265-21-6111	伍和
	長沼医師	0265-49-3083	あふち、智里西
	飯田市立病院	0265-21-1255	
	飯田保健所	0265-63-0443	
	行政	阿智村役場	0265-43-2220
	教育委員会	0265-45-1231	
	子ども家庭センター	0265-45-1232	
ライフライン	ガス(農協)	0265-43-2069	
	電気(中部電気保安協会)	0265-23-3452	
	水道(阿智村役場)	0265-43-2220	

VIII. 避難場所・避難経路

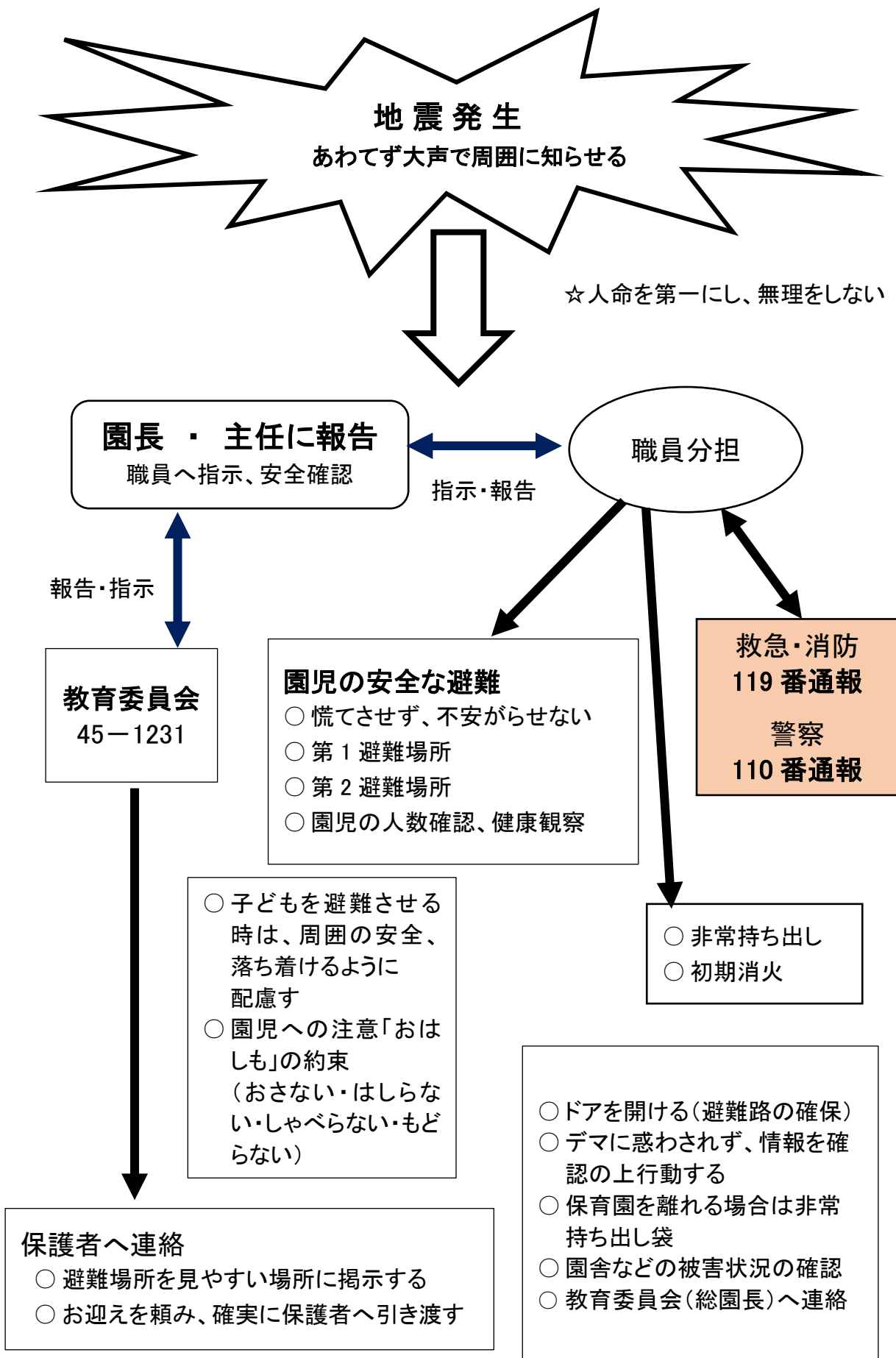
各保育園の避難場所と避難経路を確認する。

保育園名	第1避難場所	第2避難場所	第3避難場所
あふち保育園	園庭(雨天時は遊戯室)	阿智高校校庭 (雨天時は体育館)	阿智第一小学校校庭 (雨天時は体育館)
伍和保育園	園庭(雨天時は遊戯室)	阿智第二小学校校庭 (雨天時は体育館)	伍和公民館
智里東保育園	園庭(雨天時は遊戯室)	阿智第三小学校校庭 (雨天時は体育館)	智里東公民館
智里西保育園	園庭(雨天時は遊戯室)	智里西公民館・体育館	林業活動施設(区事務所)
浪合保育園	園庭(雨天時は遊戯室)	浪合小学校校庭 (雨天時は体育館)	浪合振興室
清内路保育園	園庭(雨天時は遊戯室)	清内路小学校校庭 (雨天時は体育館)	清内路振興室

<事例 1> 火災が発生したとき

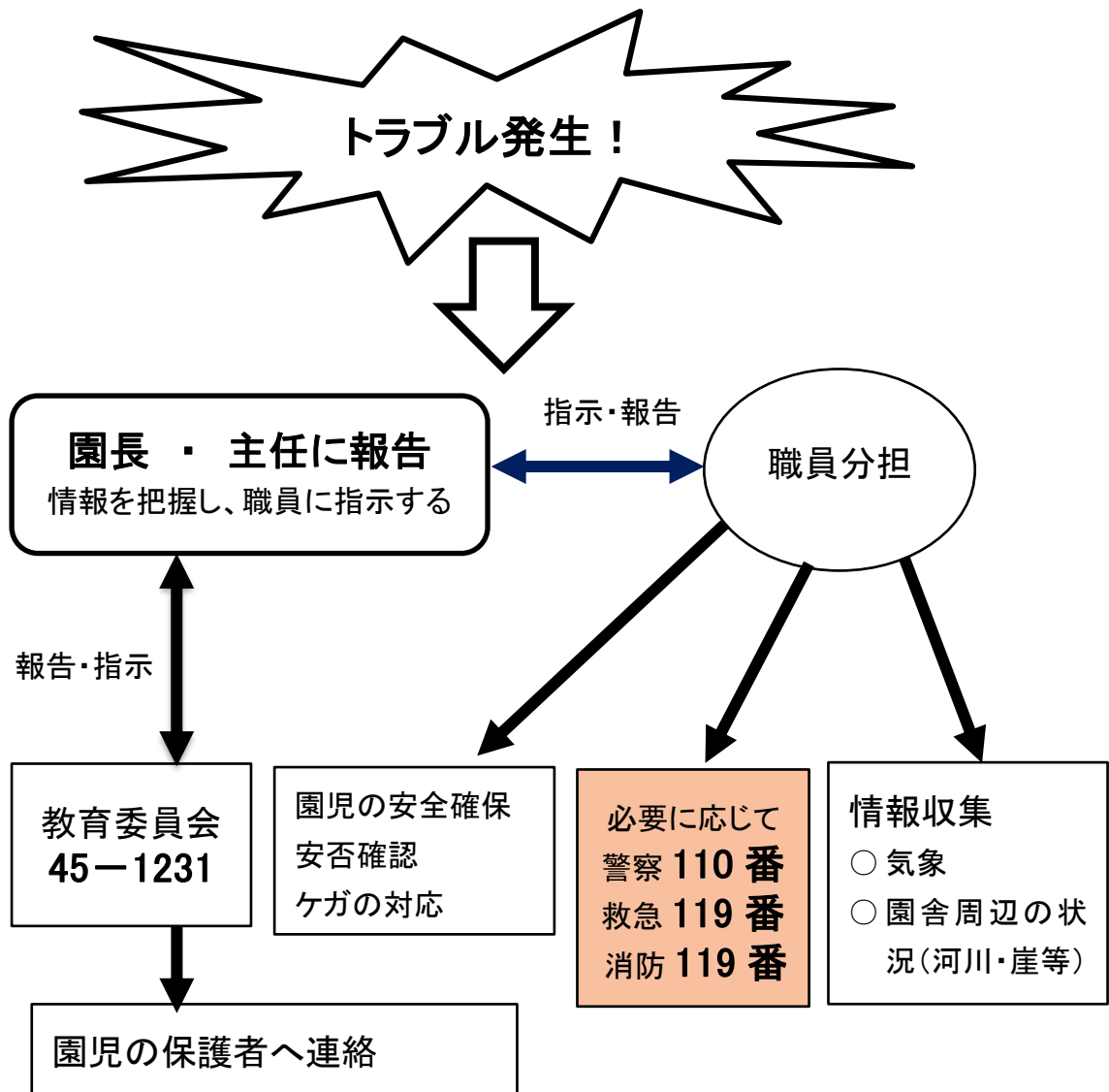


<事例 2>地震が発生したとき



<事例 3> 自然災害が発生したとき

- 園外における落雷、竜巻、急な大雨などの危険を認識し、事前に天気予報を確認する。特に「警報」や「注意報」が発令されていないかの確認を行う。



- ※ **天気の急変などの場合**： 園長は教育委員会(総園長)と、計画の変更・中断・中止等の適切な措置を行う。
- ※ **落雷の場合**： 活動中も空の様子に注意し、少しでも雷鳴が聞こえたらすぐに安全な場所に避難する。
- ※ **大雨の場合**： 事前に危険箇所を調べておき、活動場所に合った方法で避難をする。川の近くなど危険性の高い場所では、すぐに活動を中止し避難する。
- ※ **竜巻の場合**： 近くの丈夫な建物に入り、窓の近くを避けて避難する。
- ※ **土砂崩れの場合**： 雨が強まったり、長雨が続いたりしたときは、土砂災害警報情報に注意する。避難場所への避難が困難なときは、室内の安全な場所(川から離れた所等)に緊急避難する。

■ 附属資料 1 避難訓練年間計画

【避難時の約束】お：押さない は(か)：走らない し：喋らない も：戻らない			
月	想定・訓練種別・ねらい	実施内容・子どもの姿	職員の役割・留意点
4月	<p>【想定】震度4の地震</p> <p>【訓練種別】避難</p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地震の恐ろしさを知る ○避難することが分かる ○ヘルメットの被り方を知る ○避難訓練の意義を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ○第一避難場所へ避難 ○スライドや紙芝居を使い、避難の方法を知らせる ○4つの約束（お・は・し・も）を知らせる ○机の下などに隠れ頭を守り、保育者の話を聞いて正しく避難する ○保育者と一緒に避難場所まで落ち着いて避難する 	<ul style="list-style-type: none"> ○各職員の役割を確認する ○必ずその日の出席人数を把握する ○地震・火災の避難方法を明確にする ○「お・は・し・も」のパネルを使ってみんなで確認する ○様々な場面（午睡時、給食時、戸外活動時等）を想定した避難方法を職員間で話し合う
5月	<p>【想定】震度4の地震</p> <p>【訓練種別】避難・通報(園児引き渡し訓練)</p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地震の恐ろしさを知り避難の方法が分かる ○保育者の問いかけに素早く反応し自ら避難をしようとする ○災害時の引き渡しの手順を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○第一避難場所へ避難 ※第二次避難場所への避難の確認 ○合図により、慌てたり押しついたりしないように安全に避難する ○窓ガラスや蛍光灯の下など危険な場所には注意し避けて避難していく ○机の下に隠れ頭を守り集中して保育者の話を聞いて正しく避難していく ○降園時、保護者への園児引き渡しの手順に沿って訓練を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○各職員の役割を確認する ○必ずその日の出席人数を把握する ○保育者同士の連携を大切にし、スムーズな避難ができるよう訓練を重ねる ○子ども達が落ち着いて避難できるよう声掛けをしていく ○登園時の避難方法と保護者対応の確認
6月	<p>【想定】出火</p> <p>【訓練種別】消火・避難・通報</p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○火災の恐ろしさを知る ○避難することが分かる ○避難時の約束事を守りながら安全に避難していく 	<ul style="list-style-type: none"> ○第一避難場所へ避難 ○紙芝居を使い避難の方法を知らせる ○4つの約束を徹底していく ○火災ベルが鳴ったらまず保育者の話を聞き、指示に従って行動する ○避難訓練：消防署に通報訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ○各職員の役割を確認する ○必ずその日の出席人数を把握する ○通報訓練を実施する（広域消防・山本分署） ○地震・火災の避難方法を明確にする ○火災ベルが鳴ったら「まず聞く」習慣を身につけられるよう、落ち着いて明快な指示を心掛ける
7月	<p>【想定】震度4の地震</p> <p>【訓練種別】避難</p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水中（プール）で地震が起きた場合の身の守り方、安全な避難の仕方を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ○第一避難場所へ避難 ○合図や指示を受けたらすぐに水から上がり、安全な場所でタオルなどをかけ座って待つ ○安全が確認されたら落ち着いて移動し、避難の体制に移る 	<ul style="list-style-type: none"> ○各職員の役割を確認する ○必ずその日の出席人数を把握する ○プール活動中の特別な対応を確認 ○子ども達が落ち着いて避難できるよう声掛けをしていく

8月	<p>【想定】出火</p> <p>【訓練種別】避難</p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○火災時の避難の方法が分かる ○保育者の話をよく聞き素早く避難をする 	<ul style="list-style-type: none"> ○第一避難場所へ避難 ○火災時の避難の仕方を話してから避難する ○遊具・玩具・持ち物等を手に持たず、避難する ○移動の際に、他児を押したりなどしないよう促し、安全に避難できるようにする ○火災の煙を吸わないよう注意を促していく 	<ul style="list-style-type: none"> ○各職員の役割を確認する ○必ずその日の出席人数を把握する ○保育者同士の連携を大切に、スムーズな避難ができるよう訓練を重ねる
9月	<p>【想定】震度6の地震</p> <p>【訓練種別】避難・通報・園児引き渡し</p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難する方法が分かり、行動できる ○いろいろな避難の想定、状況でも保育者の指示に従って避難できる ○保護者と連携し、引き渡しの手順を確認できる 	<ul style="list-style-type: none"> ○第一避難場所へ避難 ○覚知訓練・避難訓練・引渡し訓練を行う ○地震の際の避難方法を知る（室内は机の下やマットをかぶるなど、屋外は避難場所） ○逃げる際はケガや危険のないよう補助しながら避難する ○引き渡しの通知後、保護者への園児引き渡しの手順に沿って訓練を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○各職員の役割を確認する ○必ずその日の出席人数を把握する ○引き渡し訓練の手順を職員間で共有 ○保護者への連絡方法を確認
10月	<p>【想定】震度6の地震</p> <p>【訓練種別】避難</p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○合図を聞いて、敏速に避難できる ○避難場所を理解し避難できる 	<ul style="list-style-type: none"> ○第一避難場所へ避難 ○予告なしの場合の避難をする ○子どもの反応や避難の状況を把握し、避難方法を復習をする ○保育者の声掛けですぐに身を守る姿勢をとっていけるよう促していく 	<ul style="list-style-type: none"> ○各職員の役割を確認する ○必ずその日の出席人数を把握する ○予告なし訓練での子どもの反応を記録 ○避難方法の見直しと改善点の検討
11月	<p>【想定】出火</p> <p>【訓練種別】避難・消火</p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○火の恐ろしさを知る ○地域消防の方と一緒に訓練に参加する ○職員の消火訓練に連携して行動する 	<ul style="list-style-type: none"> ○第一避難場所へ避難 ○地域消防の方から火災の恐ろしさを話していただく ○火災予防週間（11/9～15）にちなみ火の怖さ・火災予防について知る ○職員の消火訓練を実施する ○消火器の点検やシミュレーションを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○各職員の役割を確認する ○必ずその日の出席人数を把握する ○消火器の点検やシミュレーションを行う ○職員の役割についての反省を行う ○地域消防・広域消防に依頼し体験訓練や指導、子ども消防教室を計画
12月	<p>【想定】出火</p> <p>【訓練種別】避難</p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全員で落ち着いて避難し最後まで約束を守って行動する 	<ul style="list-style-type: none"> ○第一避難場所へ避難 ○予告なしの場合の避難をする ○落ち着いて行動できるようにする ○自分勝手な行動や騒ぐことは危険であることを確認する ○色々な場所での避難の仕方を確認する ○避難後に避難時の約束についてみんなで確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ○各職員の役割を確認する ○必ずその日の出席人数を把握する ○保育者同士の連携を大切に、スムーズな避難ができるよう訓練を重ねる ○子ども達が落ち着いて避難できるよう声掛けをしていく ○午睡時の避難方法と職員配置の再確認

1月	<p>【想定】震度4の地震</p> <p>【訓練種別】避難</p> <p>【ねらい】</p> <p>○全員で落ち着いて避難し最後まで約束を守って行動する</p>	<p>○第一避難場所へ避難</p> <p>○予告なしの場合の避難をする</p> <p>○子どもの反応や避難の状況に合わせ、避難方法を復習する</p> <p>○保育者の指示をよく聞き、反応できるようにしていく</p>	<p>○各職員の役割を確認する</p> <p>○必ずその日の出席人数を把握する</p> <p>○冬季の避難時の注意点を確認（積雪・凍結等）</p> <p>○地震・火災の避難方法を明確にする</p>
2月	<p>【想定】出火</p> <p>【訓練種別】避難</p> <p>【ねらい】</p> <p>○全員で落ち着いて避難し最後まで約束を守って行動する</p>	<p>○第一避難場所へ避難</p> <p>○予告なしの場合の避難をする</p> <p>○子どもの反応や避難の状況に合わせ、避難方法を復習する</p> <p>○保育者の指示をよく聞き、反応できるようにしていく</p>	<p>○各職員の役割を確認する</p> <p>○必ずその日の出席人数を把握する</p> <p>○保育者同士の連携を大切に、スムーズな避難ができるよう訓練を重ねる</p>
3月	<p>【想定】震度5の地震</p> <p>【訓練種別】避難</p> <p>【ねらい】</p> <p>○合図を聞き分け区別し、適切な方法で行動できる</p> <p>○一年間の避難訓練を振り返る</p>	<p>○第一避難場所へ避難</p> <p>○保育者の声掛けに素早く反応し、安全に避難できるようにする</p> <p>○一年間の避難訓練を振り返り、できたことや改善点を確認する</p>	<p>○各職員の役割を確認する</p> <p>○必ずその日の出席人数を把握する</p> <p>○一年間の訓練の振り返りと次年度への引き継ぎ</p> <p>○訓練記録の整理と評価</p>

【評価と反省】（年度末に記入）